

令和7年度 第1回行政改革審議会 議事録要旨

日 時	令和7年7月31日（木）午前10時～午前11時45分	
場 所	市役所 大会議室	
出席者	委 員	(会長) 高松淳也、(副会長) 赤木禎行、浦田真由、小鹿登美、小山敦、酒井大策、杉戸厚吉、鈴木寛、寺田覚、松村敦夫
	事務局	市長、副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理課長補佐、経営管理課（行革・経営係長、橋本、鳥居）
次 第	<ol style="list-style-type: none">1 市民憲章唱和2 辞令交付3 市長あいさつ4 自己紹介5 会長の選任及び副会長の指名6 会長あいさつ7 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について<ol style="list-style-type: none">ア 実績・進捗報告についてイ 行政改革審議会の意見について(2) 令和7年度外部評価及び外部評価対象事業について8 その他	

1 辞令交付

2 市民憲章唱和

3 市長あいさつ

4 自己紹介

5 会長の選任及び副会長の指名

6 会長あいさつ

7 議題

議題（1）第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について

ア 実績・進捗報告について

○会長

それでは、実績・進捗報告について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

○会長

ご意見、ご質問等がありましたら、お願ひいたします。

○委員

時間外労働が1人当たり160時間は、平均値であり、人、部署により偏りがあると思います。原因がどこにあるのか探らないと、改善されないと思います。部署によって相当な偏りがあると思いますが、分析されていますか。

○委員経営管理課行革・経営係 担当

委員が言われるとおり、平均の数字ですが、年間の時間外勤務時間の多い部署などは把握しています。

○委員

原因が明らかであれば、対策を講じていかないと、真の改善につながらないと思いますので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

○会長

他はいかがでしょうか。

○委員

「②働きやすい職場環境づくり」で、令和6年度から採用試験の工夫、技術職の採用の強化などに取り組まれています。この取組の効果が反映されるのは、令和7年度からですか。

DX推進計画2.0においても、デジタル人材の確保が記載されていることについて、今回あらかじめ提出した質問の回答にも触れられていますが、デジタル人材を確保する職員採用試験が実施されているかどうかをお伺いします。

○経営管理課長

職員採用につきまして、令和6年度に募集し、令和7年4月に採用の場合は、募集に関する取組の効果が反映されるのは、令和7年度からとなります。

デジタル人材の採用に関しましては、「情報処理」という採用枠がありますので、採用することができれば、デジタル人材の確保につながると考えています。

○会長

他はいかがでしょうか。

○委員

実施項目⑥「民間事業者の知見等を活かした取組の推進」と、実施項目⑦「デジタル化による市民の利便性向上」の関連性についてお聞きします。

実施項目⑦は、市民サービスのDXが中心です。

実施項目⑥は、説明では行政と企業との連携事業「U I A（実証事業）」について触れられています。このU I Aの事業のほかにも、業務改善、業務効率化に関してDXが図られているものがあると思います。実施項目⑧ICTを活用した業務の効率化では、ICTの活用による作業時間数が3,191時間の削減とされており、こちらも業務改善、業務効率化に伴うDXの成果になると思います。

このU I Aの事業は、あくまで実証事業という位置付けで、本格的な運用ではないということです。

○経営管理課長

実施項目⑥で挙げたU I A事業ですが、行政が抱えている課題を、公民連携の手法で企業と連携して解決を図るもので、必ずしもDXの手法に限定せず、実証的に取り組んだ事業となります。一部の事業で実際の運用を行っています。

○委員

そもそもU I Aというのは、行政としてこういう行政課題があり、それに対して民間に何か事業提案を求めて、一緒に実施するという方式の事業という捉え方でよろしいでしょうか。

○経営管理課長

市の方から課題を提示して、それに対して企業からご提案をいただき、取り組んでいる事業です。

○委員

私も同じところが少し気になっています。この実施項目⑥においても「市民の利便性向上」につながる内容もあると思います。実証事業は、その後の状況を確認し、進めていくものだと思います。また、単年度で成果にならないものもあると思いますので、資料の令和4年度の8件、令和5年度の8件、令和6年度の5件がそれぞれ別の事業なのか、継続している事業なのかが分かるとよいと思います。

また、実施項目⑧「ICTを活用した業務の効率化」は、RPAの取組実績やコピー枚数で確認していますが、RPAやAI-OCRは、デジタル化の初步的な取組の印象があります。最近では、生成AIによりかなり効率的に様々な処理ができるようになっているため、更に生成AIの活用を進めていくべきだと思いますが、検討されていますか。

○経営管理課長

まず、実施項目⑥ですが、カウントは、各年度で実施をした事業数です。実証事業として実施していますので、結果に応じて次につなげることが大切だと思います。事

業によっては、引き続き実証を進めている事業もあります。

それから、実施項目⑧ですが、生成AIの活用についても、デジタル化の取組になります。業務でも生成AIの活用推進に取り組んでおり、今後生成AIについても、時間削減の実績に含められるかを検討していきたいと考えています。

○委員

分かりました。今は含まれていないということでよいですか。

○経営管理課長

現時点では含んでおりません。

○委員

実施項目①「人材の育成・活用」についてです。令和8年度の目標が「95%以上」となっていますが、この5%をどのように考えているのでしょうか。

また、実施項目②「働きやすい職場環境づくり」の職員満足度における総合満足度で、令和6年度は不満層が11.4%となっています。令和8年度目標が不満層5%以下ですが、不満層が5%は存在してよいという考え方だと、組織のためにならないのではないかと思います。そのような点を見直されたらよいと思います。

実施項目⑦「デジタル化による市民の利便性向上」ですが、行政の手続はデジタル化が進んでおり、利便性が高くなっていると思います。

私は町内会の役員ですが、81の町内会はデジタル化が順調に進んでいません。行政と一緒に取り組んでいかないと、本当の意味での行政の利便性向上は難しいと思います。「市民の利便性向上」を掲げていますが、行政だけではなく、町内会を含め、一般市民への対応も意識して取り組んでいただき、評価もしてほしいと思います。

○経営管理課長

目標についてですが、実施項目①では仕事を通じて成長していると実感する職員の割合95%以上、実施項目②では職員満足度調査における総合満足度の不満層5%以下と設定をしています。本来であれば、100%、0%とするのが理想であると思います。一方で、現実的に100%、0%とすることは難しいことから、現在の目標値を設定しています。

実施項目⑦についてですが、指標の実績は、行政が進める手続数のみとなります。ご意見のとおり、行政だけでなく町内会を含めた市民のデジタル化は重要ですので、市民のデジタル化の状況を評価することは、今後の検討課題とさせていただきたいと考えています。

○委員

実施項目⑧「ＩＣＴの活用した業務の効率化」で、コピー枚数を5割削減する目標がありますが、市民のために必要なコピーもあると思います。課ごとにコピー枚数の実績を把握されているとのことですので、実際のコピーの目的を確認し、丁寧な要因分析を行うと、目標の着実な達成につながると思います。

○経営管理課長

参考にさせていただきます。

○委員

本日の会議は、ペーパーレスで開催していますが、他の会議はどのように取り組んでいるのでしょうか。また、内部の会議でも、ディスプレイを使い、日頃からペーパーレスに取り組めば、市民のためにどうしても必要なものを除いて、コピー枚数を大きく減らすことができると思います。民間企業では、本格的に取組を開始すると、半年程度で定着していきます。

○経営管理課長

審議会等の会議全般のペーパーレス化につきましては、今後、着実に取組を進めていきたいと考えています。現在、状況の把握と問題点の整理をしており、全庁的に取り組むためのルールを検討しています。

また、庁内の会議につきましても、ディスプレイ等を活用し、可能な限りペーパーレスでの取組を進めています。今後の一層の推進のため、各課への呼び掛けを更に行っていきたいと思います。

**議題（1）第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について
イ 行政改革審議会の意見について**

○会長

続いて、行政改革審議会の意見について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長

それでは意見案1、2、3の3つをこの場で議論して取りまとめるということで、内容や表現について、ご意見がありましたらお願いいたします。

○委員

この3つの意見案を市長に提言することですが、提言を受けて市長はどのような対応をするのでしょうか。どこの部署がどのような対応をするといった具体的な指示をするのでしょうか。提言して終わりではないかどうかを確認したいと思います。

私は、意見案1が重要だと思います。「行政改革を何のために行うのか。」「行政改革により何が生み出されるのか。」「市民や職員にとっての新しい価値は何か。」これらを1対1で容易に結び付けることは難しいと思いますが、何が生み出されるのかを明らかにすることは、主体的に取り組む上で重要なことだと思います。

○経営管理課長

意見への今後の対応につきましては、まず、意見の内容を市長に報告します。次に、意見を受けて市長が各課に対する指示を行い、各課が今後の対応を検討する流れとなります。

また、意見案1の価値創造につきましては、現時点で具体的にどのように取り組んでいくのかイメージができていません。しかしながら、例えば、行政改革によるリソースを用いて新規事業を実施する中で市民満足度を把握していくことも、取組の一つと考えます。今後、他の自治体の事例等も参考にして、検討していきたいと思います。

○委員

行政も民間も同様で、時間や金額を削減することを目的にしがちですが、本当の目的は違うということを忘れないようにしてほしいと思います。

○委員

行政改革により業務の効率化が図られるといった良いこともあると思いますが、それを重荷に感じて、病気になった職員の割合は把握されていますか。

○経営管理課長

大変申し訳ございませんが、具体的な数値は把握していません。

○委員

福祉関係の部署に勤務されている方は、出勤ができなくなり、長期間休職する方がいるようです。普段の業務に加え、更に業務の改革に取り組むことは大変だと思います。

○委員

具体的なアイデアは示せませんが、行政の関わりが大きくなっているというのが実態です。先ほど、DXにより業務時間を削減したことでしたが、一方で、時間外勤務時間が増えている状況があります。新たな業務が加わり、時間外勤務時間が増え

ざるを得ない 増えるべくして増えているということだと思います。民間企業と違い、行政はこれを行えば完了ということではなく、行けば行うほど、様々なニーズが発生する状況にあると思います。

そうした意味では、今の状況を評価することも必要ですが、新しい業務にどれだけ対応したかということを評価する仕組みが必要だと思います。

具体的に、今すぐにこうした方がよいというアイデアを示せませんが、時代の変化で業務が増えており、それに対応せざるを得ない状況にあります。その中で、具体的にどのような指標が適切か分かりませんが、各部署が様々な業務に取り組んでいると思いますので、新しい業務にどれだけ対応したのかを評価する方法を検討していただきたいと思います。

○経営管理課長

次の行政改革大綱の策定予定がありますので、ご意見を参考にさせていただきます。

○委員

意見案については、期限を示してもよいのではないかと思います。

○経営管理課長

この意見案を基に、市としては、今後、時期も含めて対応を検討します。

○委員

事前に提出した意見のNo.4に記載しましたが、目標の達成がかなり難しいものも「遅れている」と表記されています。この評価の区分が3つしかありませんので、更に細分化して、達成が難しい要因や課題を総括表に記載していただきたいと考えています。

事務局から提供いただいた資料には、進捗管理指標の達成に寄与する取組による数値結果等が記載されていますが、更に精査した記載を検討いただきたいと思います。

○経営管理課長

ご意見を考慮しまして、次回、進捗結果を報告させていただく際には、分かりやすい資料を作成していきたいと思います。

○会長

それでは、本日のご意見を今後の進捗把握等にご活用いただきたいと思います。行政改革審議会の意見案としては原案どおりとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、今年度の行政改革審議会の意見として、原案を承認することとします。

議題（2）令和7年度外部評価及び外部評価対象事業について

○会長

続いて、令和7年度外部評価及び外部評価対象事業について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長

ご意見ご質問等あれば、お願ひいたします。

○委員

選定した4事業の内容は分かりましたが、どのように選定したのかを教えてください。4つの視点、必要性、有効性、効率性、公平性は、監査部門や検査部門の視点だと思いますが、アドバイスを求めているのでしょうか。

○経営管理課長

選定につきましては、広く外部の皆様からの意見を市の事業に反映したいと考え、過去この外部評価で対象にならなかった課のほか、過去に対象になった課であっても年数が経過した課から、事務局で課題があると考える事業を選定しています。その上で、該当課にヒアリングを行い、対象課においても課題を認識している事業を選定しています。4つの視点で、今後に向けた評価とアドバイスを含めた意見をいただきたいと思います。

○委員

今後、外部評価事業評価シートを送付いただけると思います。昨年も意見を申しましたように、エクセルの事業評価シートがデータで確認するには分かりにくく、外部評価当日に担当者が説明するパワーポイントの資料の方が、写真が添付されているなど分かりやすいと感じました。今年度は、何か工夫をいただけるのかを教えてください。

○経営管理課行革・経営係 専門主査

事業評価シートは、昨年度ご意見をいただいておりますので、別の形式で分かりや

すいものを提供できるよう検討してまいります。

○委員

別の会議では、事前説明や動画での共有なども実施していただいたことがあります。事前に意見が必要とのことであれば、シート以外も工夫していただきたいと思います。

○委員

昨年の外部評価で担当課の説明を聞いた際、何を求めているのか分かりにくい事業がありました。拡充、縮小、廃止などを分かりやすく説明していただきたいと思います。各委員が判断しやすいように、方向性や考えを説明していただきたいと思います。

○経営管理課行革・経営係 専門主査

説明について、工夫をさせていただきます。

○会長

それでは他にご意見もないようですので、本日の議題は、これで終了といたします。